立ち往生防止対策



トラック・バス運送事業者の皆さまへ

道路で大型車が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こします。特に年末年始は大量の輸送需要が発生し、輸送機関等に人流・物流が集中するため、ひとたび事故等が発生した場合には大きな被害となることが予想されます。立ち往生防止対策にご協力お願い致します。

チェーンの携行・装着

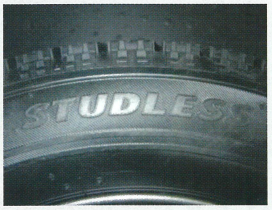
- **大雪警報が発表されるなどの相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

性能限界

- 冬用タイヤ及びチェーンのいずれにも**性能限界があり、万能ではありません。**例えば、車両の**バンパーに接触するような新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

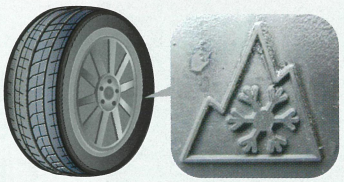
冬用タイヤの選び方

- オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**（国内表記）又は**スノーフレークマーク**（国際表記）が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例

スノーフレークマーク



（タイヤの側面に表示されています）

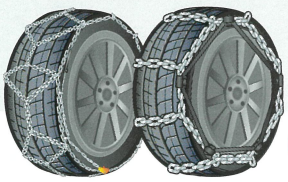
冬用タイヤの使用頻度

- **溝深さが50%**以上残っていることを**「プラットホーム」**で確認しましょう（一部海外メーカー品は除く）





残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。



大型車用金属チェーン

けん引フック場所の事前確認

- 大雪時等において当該車両をけん引する際にけん引フックの装着位置が確認できず、円滑な作業の妨げになる恐れがあると考えられます。**事前に確認しておきましょう。**
- 大型トラック、バスのフロントけん引フックはフロントバンパーの内側など、カバーで覆われ、通常の状態では見えない場合があります。**使用の際はカバー類などを取り外して使用して下さい。**



けん引フックを使用してけん引する際には、「取扱説明書」の指示に従って行ってください。

不明な点などは、各社最寄りの販売会社または下記へお問い合わせください。

いすゞ自動車㈱	お客様相談センター	0120-119-113
日野自動車㈱	お客様相談窓口	0120-106-558
三菱ふそうトラック・バス㈱	お客様相談センター	0120-324-230
UDトラックス㈱	お客様相談室	0120-67-2301

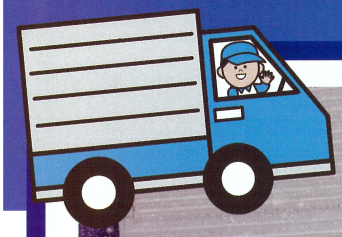
立ち往生の発生防止にご協力を！

確認はお済みですか!!

大雪時の大型車



チェーンの携行
装着方法の確認
けん引フックの場所





●相当量の積雪が見込まれる場合は、**チェーンの携行と装着方法の確認**。

●降雪時には、立ち往生する前に**早めの装着**。



けん引フック場所が分からず、けん引に苦慮しております。**事前に確認を**。



お問い合わせ先
国土交通省
東北地方整備局

福島河川国道事務所
TEL:024-546-4331

郡山国道事務所
TEL:024-946-0333

磐城国道事務所
TEL:0246-23-2211